



## JUNBA 理事会(第 171 回)議事要旨

日時: 令和 5 年 2 月 9 日(木)16:00-

場所: JSPS サンフランシスコ研究連絡センター

出席者:

【理事】奈良先端科学技術大学院大学(三宅会長)、名古屋大学(神山副会長)、  
大阪大学(North 理事)、桜美林大学(丸山理事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長、太田副センター長、橘、安藤、遠藤、Abby)

【アドバイザー】サンフランシスコ総領事館(黒川領事)

【オブザーバー】大阪大学(東澤)、早稲田大学(眞谷)、Institute of Quantum BioFrontiers(千田)、  
東京理科大学(熊谷)

### 1. 第 170 回 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1】

議事に先立ち、資料 1 に基づき、第 170 回理事会及びメール審議議事要旨案を了承した。

### 2. 議題

#### (1) 令和 5 年度 JUNBA 活動計画について【資料 2】

事務局から、資料 2 に基づき、JUNBA セミナーの担当校振り分けについて、諮られ、次年度第 1 回を名古屋大学及び桜美林大学、第 2 回を大阪大学及び奈良先端科学技術大学院大学にて担当することとなった。

また、次年度の総会について、5月25日(木)に対面開催とし、同日に理事会とセミナーを兼ねた、各拠点の活動内容の共有を目的とした JUNBA 拠点会議を開催することについて諮られ、了承された。

#### (2) 令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーについて【資料 3-1~3-2】

事務局から、資料 3-1~3-2 に基づき、令和 4 年度第 2 回 JUNBA セミナーの反省内容について説明があった後、反省内容について意見交換が行われた。

### 主な意見

今回、一講演に対して、講師が 2 名いたため、1 つの質問に対して、2 名から回答いただき、質問時間を十分に確保できなかったため、運用方法の検討が必要。

次回のセミナー開催にあたっては、今回のアンケート結果に基づき、テーマを検討してはどうか。

今回のセミナーにおいては、参加者の内、6 割を大学職員が占めており、今後取り扱ってほしい内容として記載があった大学職員のキャリア開発について、次年度テーマとして扱うのはどうか。

(3) 会長の互選及び副会長の選任について【資料 4-1～4-2】

事務局から、資料 4-1～4-2 に基づき、三宅会長が今年度末日付で任期満了することに伴い、会長の互選及び副会長の選任を行う旨、説明があった後、互選の結果、丸山理事が会長を務めることとなり、副会長には、North 理事が指名された。

(4) 名誉アドバイザー及びアドバイザーの更新について【資料 5-1～5-6】

事務局から、資料 5-1～5-6 に基づき、引き続き名誉アドバイザーを在サンフランシスコ日本総領事館 野口総領事、JETRO サンフランシスコ事務所長 林所長、Richard B. Dasher 氏 Director, US-Asia Technology Management Center, Stanford University に引き続き依頼することについて、説明があった後、諮られ、了承された。

また、JUNBA のネットワーク拡大を目的として、アドバイザーの新規開拓をすることとなり、次回理事会までに、理事会関係者で候補者を募り、引き続き検討することとなった。

### 3. 報告事項

(1) 各拠点の令和 4 年度の活動計画について【資料 6】

事務局から、資料 4 に基づき、報告があった。

その後、資料 4 に基づき、サンフランシスコ総領事館及び大阪大学から共有事項について報告があった。

### その他

特になし。

### 〈配布資料〉

【資料 1】第 170 回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料 2】令和 5 年度活動計画について

【資料 3-1】令和 4 年度第二回 JUNBA セミナーアンケート結果

【資料 3-2】令和 4 年度第二回 JUNBA セミナー事務局反省メモ

【資料 4-1】JUNBA(サンフランシスコ・ベイエリア大学間連携ネットワーク)会則

【資料 4-2】歴代 JUNBA 会長一覧

【資料 5-1】名誉アドバイザー就任依頼及び承諾書(野口総領事)

【資料 5-2】アドバイザー就任依頼及び承諾書(JETRO 林所長)

【資料 5-3】アドバイザー就任依頼及び承諾書(Stanford University Richard Dasher 教授)

【資料 6】2022 年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程: 令和 4 年 3 月 23 日(木)16 時 00 分～(PST)、24 日(金)9 時 00 分～(JST)